

「きょうとエコサマー」の取組について

(バス・鉄道の運賃が保護者一人につき小学生2人まで無料に)

京都府建設交通部交通政策課

取組の概要

- 京都府内の対象のバス・鉄道の運賃が、大人1人につき小学生2人まで無料
- 小学生の夏休み期間に実施 (R6は7/20～8/25)

対象交通機関

府内の13乗合バス事業者、京都丹後鉄道、コミュニティバス等(計36交通機関)

利用方法

バス：降車時に運転手に「エコサマー」と申告
 鉄道：HPから印刷した専用チケットを利用

取組の目的

- 環境や公共交通について児童が家族と話し合う **きっかけづくり**
- 家族のお出かけの移動手段を自家用車から **公共交通へ転換**
- 取組をきっかけに、小学生に公共交通を利用してもらうことで **将来の公共交通の利用者を獲得**

趣旨に賛同いただいた交通事業者・市町村の御協力により実現

※京都府はゼロ予算

チラシデザインの作成
 自治体広報誌、HP、SNSなどを活用し、追加費用ゼロで広報PRを実施

運賃割引分は各事業者・市町村のご負担により実施

経過

2007 京都府南部の一部地域で開始
実施期間 10月～11月の土日
対象市町 3市町(八幡市、久御山町、城陽市)
対象市町が年ごとに増加

2011 福井県高浜町も参加し、23市町に。
 北近畿タンゴ鉄道(現：京都丹後鉄道)も追加

2012 兵庫県篠山市も参加し、24市町に

2015 参加方法がチケットから、口頭で「**エコファミリー**」と申告する方法に変更



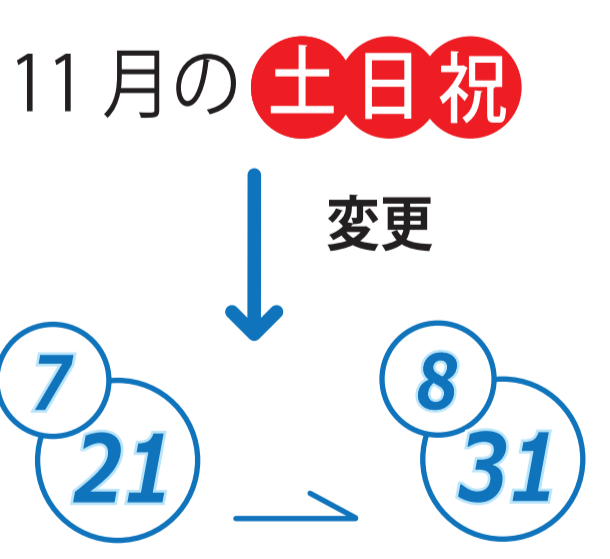
◆チケットありチラシ



◆チケットなしチラシ

2020 2021 コロナ禍で実施を自粛

2022 実施時期を秋から**夏休み期間**へ変更



2023 これまで別時期に実施していた京都府・京都市の取組を統合し、府内全域での実施を実現



広報効果の向上
 +
 利用者・バス事業者の双方にとっての利便性の向上



- チラシデザインの刷新
 - 広報部局との連携、デザイナーの活用
- 府全域の取組としての機運醸成
 - 対象となる市町村コミュニティバス・デマンド交通の増加
- 府内市町村との連携による効果的な広報の実施
 - 実施内容や共通広報ビジュアルの早期確定により、市町村とも積極的に連携

利用実績

本取組は、口頭での利用であるため、全体の利用者数の把握は難しいが、利用者数の測定を一部で実施

京都丹後鉄道 (R5年度) : 382人が利用 / 1日当たり9.3人が利用

- ・ R4年度216人と比較し、**約70%増**
- ・ 半数が地元の人、半数は地域外(京都市、大阪府等)の人が利用しており、幅広く利用

まとめ

人口減少やクルマを使ったライフスタイルの定着などによって、公共交通の利用者が減少中。公共交通の維持・確保が困難に

今後、長期間にわたって公共交通を利用する可能性がある小学生に、本取組をきっかけとして公共交通を利用したおでかけを体験してもらうことは、公共交通の利用促進に大きな効果を生み出す可能性

今後本取組の継続に向け、広報活動の強化+効果検証の方法について検討